

印旛沼をつくる湧き水

印旛沼流域は、いろいろな層が積み重なった台地とその台地を侵食してできた谷津から成り立っています。

大地に降る雨は地中に浸み込み地下水に、そして再び地表に湧き水となって現れます。湧き水は沢を創り出し谷津を流れ、印旛沼周辺のそれぞれの川に集まり、沼に注ぎます。

印旛沼流域には多くの湧水があり、印旛沼の水源として大きな役割を果たしているのです。

しかし近年谷津や里山は減り、環境は悪化しています。

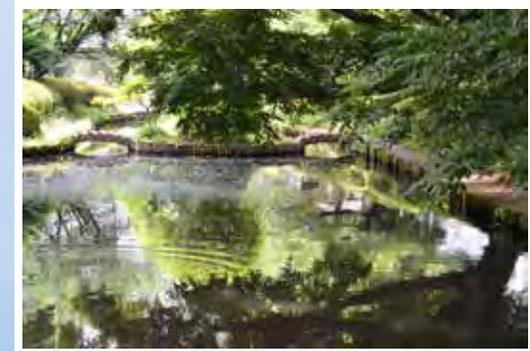
印旛沼の水質改善等のためにもこれら湧水の維持や復活がわたしたちの課題ではないでしょうか。



印旛沼流域の湧水の中には、
故事来歴のある湧水も数多くあります

名跡湧水

- 加賀清水（佐倉市）：佐倉城主の久保加賀守がこの清水を愛飲したという。
- 千葉水（佐倉市）：本佐倉城主の千葉勝胤がこの清水を愛飲したという。
- くもの井（佐倉市）：村人たちがクモに棲家の藪を残したお礼にできた湧水。
- 権現水（佐倉市）：徳川家康が狩りに訪れた際に立ち寄り飲んだ湧水。
- 親は古酒子は清水（栄町）：親が飲むと古酒で、子が飲むとただの清水という言い伝え。
- 月影の井（印西市）：「日本三井」のひとつ。千葉氏一族の城主が使っていた。
- 椿井（成田市）：処刑覚悟で直訴に行く宗吾が妻子と最後の水盃をかわしたという、別れの井。
- 乳子清水（八千代市）：「この清水でおかゆを作り産婦に食べさせると湧き出るように乳が出る」と言い伝え。



▲ 加賀清水（佐倉市）

信仰湧水

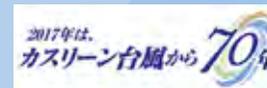
- 勝間田の池（佐倉市）：西行法師が訪れ歌を詠んだという言い伝え
- 御手洗の池（佐倉市）：弘法大師が巡礼の途中、手を洗った池
- 西行清水（佐倉市）：西行法師が遊歴し詩を読んだと言われており、干ばつの時も枯渇しない。



インパツチくん



参考：
 ・環境省 HP[千葉県の代表的な湧水]
 ・印旛沼周辺ナビマップ
 ・佐倉の湧水物語
 ・いんばぬま情報広場 HP



(独)水資源機構 千葉用水総合管理所

住所：千葉県八千代市村上3139

TEL：047-483-0722

E-mail：chiba_kouhou@water.go.jp

ホームページ：http://water.go.jp/kanto/chiba/index.html

